

2024 年度事業報告書

特定非営利活動法人神戸まちづくり研究所

1. 活動の成果

2024 年度は、私たちの法人にとって変化の年でした。阪神・淡路大震災 30 年の節目であると同時に、事務局体制が更新され、こうべまちづくり会館全体の指定管理業務が始まりました。

震災 30 年目の 1.17 関連企画として、1 月 12 日から 19 日までの期間、こうべまちづくり会館全館を会場とした「阪神・淡路大震災 30 年記念こうべあいウィーク」を開催しました。そこでは、阪神・淡路だけでなく、東北や現在進行形の能登など、復興まちづくりに携わる全国の方々の交流や情報発信が行われました。青池監督による「野田北部・鷹取の人びと」全 14 巻を上映するなど、この時期でしかできない企画も多数行いました。また、多くの会員に運営に加わっていただくこともでき、これまでを振り返り、これからを考える、充実した機会となったと思います。

また理事長をはじめとした事務局の交代があり、新たな運営体制の構築と定着化を図ってきています。円滑な移行のため、前理事長、前事務局長の協力もいただき、事務局会議を密に開催し、業務遂行に支障がないように、またこれまで指摘されていた運営上の課題の改善を図るべく、体制づくりを行ってきています。デジタルツールによる業務の共有と管理、こうべまちづくり会館館長をはじめとする会館職員との情報共有や連携、理事や会員の方々への役割分担などを進め、1 年を経て、ようやく安定的な運営に移行できたかと考えております。もちろん、不十分な点も多々あるため、それらの改善を今後も随時図ってまいります。

こうべまちづくり会館の指定管理業務開始当初には、多くの会員の皆さまのご協力をいただきました。会館職員の努力もあり、小さなトラブル等はあったものの、前指定管理者から管理業務を無事に引き継ぐことができました。その後も、新たな企画や広報の展開により、2023 年度に比べ、貸室の利用率上昇、新たな団体との連携、若手を中心とした多世代の参加など、これまでとは異なる明らかな成果が現れてきています。特に課題となっていた指定管理料と実質的な経費との乖離についても、運営上の実態に基づいた協力事業者の見直しを図り、その差を大きく埋めることができました。まだ不十分であるとはいえ、このことは法人全体の経営においても、好影響をもたらすものとなりました。

依然、復旧復興の歩みが遅く見える能登半島地震の復興支援については、ベテラン会員が先鞭をつけ、若目・若手会員及び関連団体の若手人材がそれに続く、という経過で支援体制が形作られてきました。同時並行で、支援者の連絡会議を定期的実施し、そのネットワークづくりと情報共有も進めてきています。現地の被災者と話し合うだけでなく、関連する NPO や自治体等とも連携し、協議を続けてきた結果、最終的に兵庫県がアドバイザー派遣の仕組みを作り、それに則って珠洲市とも公的な関係を築くこととなりました。少なくとも今後 3 年間は、珠洲市の被災地への定期的な支援を行うこととなります。また珠洲市以外からも支援の相談はあり、2025 年度以降、地理的に展開する可能性があります。

以上のような取り組み以外にも、語り部ガイドの育成や居住支援法人への支援、神戸市のアドバイザー派遣、長田区の将来像づくり等ワークショップの企画運営、各種団体とのネットワークなど、継続実施しているものについても、それぞれ着実な成果を上げてきております。これら活動に関する情報共有は以前から法人の課題でしたが、これに対しては、動画によるニュース発信、会員個人に焦点を当て話を聞く「まち研トーク」、被災地の食材を楽しみつつ語る場「スナック復興」などを新たな試みとして実践しました。ただ、回数や密度、発信方法については不十分な点も多く、今後の課題としております。

こうした活動を通じて、正会員に新たに3名の方が加わったことは、特に大きな変化と言えるかもしれません。新会員のみなさまには各種活動へのご参加をお願いするとともに、皆さんが活躍できる舞台を用意することも一方で必要と考えています。

そして、これまでの活動をご評価いただき「第6回貝原俊民美しい兵庫づくり賞」を、これからの提案が評価され「阪神・淡路大震災30年課題解決アイデアを募集するプロジェクト部門賞」を、それぞれ受賞しています。このことは、私たち法人にとって、震災30年を経て、これまでとこれからを繋ぐ重要な節目を刻むものとなったように思われます。

以上のように、2024年度は、神戸まちづくり研究所にとって変化の大きい年となりました。中でも、私たちにとって衝撃的でしたのは、第3代理事長であった小林郁雄さん御逝去の報でした。ご病状の経過などは丁寧にお知らせいただいております、そこからご回復を想っていたのですが、その期待は外れ、突然、といった印象で、お亡くなりになりました。「偲ぶ会」で多くの関係者が語られていた通り、阪神・淡路大震災からの復興のキーパーソンであり、復興まちづくり支援のグランドデザインを描き、現場で実践され、様々なネットワークを築き、重ね、新たな被災地へ展開し、世界へと発信され続けた方でした。重要な立場におられながら、決して驕ることのないお人柄で、特に若い人材には手を差し伸べることを惜しまず、導いてこられました。私たち法人の源流の一つでもある小林郁雄さんの遺志は、私たちこそ引き継ぐべきものであると考えております。

2023年度からの運営と業務の円滑な移行と遂行は、会員各位のご協力の賜物と感謝しており、同時に2025年度以降への、みなさまの活動へのご参加をお願いいたします。

2. 特定非営利活動に係る事業

(1) 民間非営利組織、市民活動及びまちづくりに係る調査・研究・研修・政策提言

■ 研修事業

○ 研修受け入れ事業（自主事業／2024年4月1日～2025年3月31日）

震災体験現地交流プログラムや、市民活動やまちづくりに関わる人々との交流・体験プログラムにて、各種団体の研修・視察を受け入れた。

- ・復興まちづくり状況に関する訪問調査の設計・説明業務（関西大学社会安全学部越山研究室／2024年7月4日）

越山先生と南米コロンビアの留学生1名を案内。合同庁舎をスタートし、新長田再開発のエリアを中心に、事業の説明と現状の課題について説明を行った。

- ・居住支援法人座談会コーディネート（株式会社Happy／2025年1月30日）

居住支援法人座談会（1月30日、11名参加）を2名でコーディネートした。参加者からは、居住支援の範囲が広すぎてぼんやりしている、助けてほしい時に誰に相談していいのかわからない、各法人の専門性を知り連携の取れる関係性を作りたい、少人数での勉強会をもっと開催したいなどの意見が出た。

- ・日弁連全国協議会現地視察（日本弁護士連合会／2025年2月16日）

神戸市で開催された日弁連全国協議会において、長田区の被災地を視察し、都市計画や再開発に関する講義がピフレ会議室で行われた。参加者は全国から集まった約80名の弁護士でこうべiウォークと同様に3班に分かれて大国公園を出発し、各スポットで解説や語り部の話を聞いた。午後には、兵庫県震災復興研究センターの出口氏やK-TECの石井氏の講話からグループでの意見交換を実施した。

○ 講座・勉強会事業（自主事業／2024年4月1日～2025年3月31日）

講座・勉強会・セミナー開催や開催支援業務を受託した。

※まちラボで開催するものは（3）の会館自主事業として行う。

- ・令和6年度「防災まち歩き」語り部ガイド育成研修業務（ひょうご安全の日推進県民会議委託事業／2025年1月28日～2025年3月31日）

阪神・淡路大震災から四半世紀以上が経過し、改めて風化の阻止が必要となっている。幅広い世代が震災の経験・教訓を学べる「防災まち歩き」の展開・定着を図るため、阪神・淡路大震災から復興した街並み等を歩きながら震災の経験・教訓を伝える語り部ガイドとして活動するための基礎知識・心構えを学ぶ体験型の研修を企画・実施した。

当日は雨の影響で参加者が減少したが兵庫県内の各市町から16名が参加し、研修では復興したまち並みを歩きながら語り部の話を聞き、午後にはグループワークで感想や今後の語り部の在り方について意見交換が行われた。



- ・長田区将来像の検討に向けた意見集約支援業務（神戸市／2024年10月4日～2025年3月31日）

長田区制80周年を迎えるにあたり、「こんなまちにしたい」という区の将来像に関する区民意見をとりまとめるため、アンケート結果も踏まえた意見交換会の企画・運営支援、区の将来像に関する区民意見の共有にあたっての内容や手法の検討などの業務を行った。



対象者	日時	参加者数
高校生以上	12月8日（日）10時～13時	34名
小中学生	12月14日（土）10時～12時30分	26名
高校生・大学生・20歳代	12月14日（土）14時～17時	17名
有志会議	2月14日（金）17時～19時	11名
	3月14日（金）15時～17時	10名
	3月24日（月）17時～19時	8名

■調査事業

○会館・集会所活用企画公募事業運営業務（神戸市委託事業）

実施せず。

（2）民間非営利組織、市民活動及びまちづくりの支援事業

■まち活拠点まちラボ事業

○神戸市立こうべまちづくり会館の管理運営業務（神戸市委任事業／2024年4月1日～2029年3月31日）

神戸市立こうべまちづくり会館条例及び条例施行規則、並びに会館の指定管理者応募要領における指定管理者が行う業務の管理基準及び当研究所が提出した会館の事業計画書に記載する提案に従い、会館の指定管理者として、以下の業務を行った。

1）貸館事業に関する業務

2024年度の入館者数は337,502人で、2023年度の入館者数は307,769人、2022年度の入館者数284,378人、前指定管理期間（2014年度～）から毎年度増加している。会議室等の稼働率は2023年度と比べるとB1ギャラリーは76.8%→77.1%、2階のホールが30.7%→35.5%、3階の多目的室が34.8%→40.7%、6階会議室の稼働率は47.1%→47.5%で、全フロアにおいて増加した。2024年度の会館利用件数は一般利用806件と減免利用462件、合計1,356件で、2023年度の788件と比較して72.0%の大幅増となった。

また、貸室業務を4階まちラボで行うにあたり、5階より受付用の電話・FAX及びトイレ呼出し表示器の4階移設、4階にカメラ監視システム新設工事、警報盤異常時結線工事を4月に施している。

2）施設及び設備の維持管理に関する業務

仕様書に沿って適切に施設の維持管理を行った。夜間機械警備にあたるセコムとの契約も含め、定期清掃や定期点検など設備機器保守管理を株式会社日昌ライフサポートに施設管理業務を委託。10月には受水槽の誤発報が相次ぐトラブルが発生したが、下請けの株式会社ユニテックスの担当者との連携で最小限の作業で解決をみた。修繕については、限られた予算の中で優先順位をつけて実施。トイレの故障や詰まりなどの緊急対応に加え、シャッターのバッテリー交換、B1ギャラリー入口前のガラス扉の修繕など事故を未然に防ぐことを意識した。また2階ホールの音響設備老朽に伴う更新にも着手し、2025年度に跨る形で順次機械の入れ替えを図る。

また、利用者から多かった「1階に休めるベンチを設置してほしい」という声に対して、猛暑の夏を



↑ 1階に移設したベンチ

迎える前に4階で使用していた簡易ベンチを1階に移設。利用者が入れ替わり常時使用していることを巡回時に確認。会館利用者増加の一因とも推察される。

消防訓練については、法令に基づき12月と3月の2回実施した。

3) その他施設の維持管理・運営に付随する業務

まちづくり事業としては、まちづくり専門家として辻氏によるまちづくり相談を不定期に実施。内容としては神戸市各所の協議会相談や公園の使い方など。

まちづくりに関する情報収集及び情報提供の場として、4階まちラボにて神戸の活動団体ニューズアーカイブと新着図書コーナーの継続と拡充、まちづくり関係図書の収集や紹介を行なった。オンライン上での書籍の検索システムは今後も引き続き実用化に向けて検討する。

会館ホームページも2025年3月にリニューアルした。2023年度にまちラボで導入した「自動改札」の開発に携わった団体・考える人による。今後はスマホ版環境への更なる適応など、改良も進めていく。

また、地域の賑わいづくりの一環として、ウクレレなどの音楽を使った「お天気の家」を正面玄関でのイベントを継続して不定期で行い、地域の賑わいづくりを行なった。また、積極的に協力者を募り、イベントを併催することで新たな層の利用や、まちづくり活動への参加を促した。

その他1階休憩スペースの活用として、授乳室設置のほか、新着図書情報を既設の屋台に展開。4階まちラボの利用を促す装置として転用した。

月一回行われる4丁目商店街の理事会もまちラボにて開催。12月20日～22日には、4丁目商店街主催のぐるぐるくじ会場としてもまちラボが使用され、期間中に約1,200人の来館を促した。



↑ 新設の授乳室と新着図書屋台

■被災地支援事業

○復興まちづくり支援事業（自主事業／2024年4月1日～2025年3月31日）

行政からの委託事業や補助事業で支援してきた地区などを可能な範囲で継続して支援していく。対象地区は、東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨災害並びに2023年1月の能登半島地震を想定。

・4月13～14日（土～月） 宮城県気仙沼市只越地区

完成した防災集団移転事業の記録誌を届けに気仙沼市只越地区を理事長（野崎（隆））が訪問。地元リーダー宅に住民が数人集まり、報告と意見交換を行った。仙台弁護士会宇都弁護士と岩手大学坂口先生が参加

・5月5～7日（日～火） 石川県能登半島

派遣メンバー：野崎（隆）、辻、山本（同行メンバー：他8名）

訪問先：輪島市町野、能登町白丸、珠洲市宝立、健康増進センター、七尾市市田鶴浜

・6月13～15日（木～土） 石川県能登半島

派遣メンバー：野崎（隆）、北村（同行メンバー：他4名）

訪問先：珠洲市大谷、珠洲市役所、輪島市朝市、能登町宇出津、能登町白丸、輪島市西保

・10月1～2日（金～土） 石川県能登半島

派遣メンバー：野崎（隆）、辻（同行メンバー：他2名）

訪問先：珠洲市内水害被災地（上戸、若山）、珠洲市飯田

○復興まちづくり支援事業2 (特定非営利活動法人 YNF/2024年7月26日～2024年9月19日)

特定非営利活動法人 YNF と連携し、7～9月に3回珠洲市を訪問し支援した。

・7月26～28日(金～日) 石川県珠洲市

派遣メンバー：野崎(隆)、辻、北村(同行メンバー：他6名)

内容：5地区(宝立・三崎・蛸島・正院・直)での車座座談会に参加し進行と記録を行った。



・8月23～25日(金～日) 石川県珠洲市

派遣メンバー：野崎(隆)、辻、東末(同行メンバー：他3名)

内容：5地区(日置・大谷・若山・上戸・飯田)での車座座談会に参加し進行と記録を行った。

・9月18～19日(水～木) 石川県珠洲市

派遣メンバー：野崎(隆)

内容：正院地区の会合に参加し、まちづくり協議会に関する講義を行った。

○ひょうご復興まちづくりアドバイザー派遣事業(兵庫県/2024年10月25日～2025年3月31日)

復興に向けて住民が主体的に取り組むまちづくり活動を支援することで兵庫県における復興まちづくりに係る専門家を育成する事業を使い、被災地である石川県珠洲市支援を行っている。

・10月25～26日(金～土) 石川県珠洲市

派遣メンバー：野崎(隆)、辻(同行メンバー：他1名)

訪問先：市役所、正院、飯田、宝立、水害被災地(大谷)、三崎

・11月26～28日(火～木) 石川県珠洲市

派遣メンバー：野崎(隆)、辻、初田、北村(同行メンバー：他3名)

訪問先：正院、蛸島、直、上戸、飯田、宝立、市役所にて市長懇談、輪島朝市エリア



・12月16～18日(月～水) 石川県珠洲市

派遣メンバー：辻、初田、橋本(同行メンバー：他1名)

訪問先：市役所、正院、蛸島、宝立

・12月18～20日(水～金) 石川県珠洲市

派遣メンバー：野崎(隆)、北村、前田(同行メンバー：他1名)

訪問先：市役所(コンサルとの意見交換)、直、飯田、上戸、能登官民連携復興センター、内灘町西荒屋

・1月25～28日(土～火) 石川県珠洲市

派遣メンバー：辻、前田

訪問先：市役所、直、飯田、上戸

・1月31日～2月2日(金～日) 石川県珠洲市

派遣メンバー：野崎(隆)、山本、東末(同行メンバー：他2名)

訪問先：市役所、正院(設立総会)、蛸島、宝立、能登官民連携復興センター
第1回のとボイスへの参加、内灘町西荒屋

・2月21～23日(金～日) 石川県珠洲市

派遣メンバー：辻、前田

訪問先：市役所、飯田、上戸

- ・2月27日～3月2日（木～日） 石川県珠洲市
派遣メンバー：野崎（隆）、山本、東末（同行メンバー：他3名）
訪問先：市役所、正院、蛸島、宝立、外浦地区（視察）、門前町七浦
- ・3月20日～3月21日（木～金） 石川県珠洲市
派遣メンバー：辻（同行メンバー：他1名）
訪問先：市役所、飯田（設立総会）
- ・3月27日～29日（木～土） 石川県珠洲市
派遣メンバー：野崎（隆）
訪問先：市役所、正院、宝立

○**金蔵地区のまちづくり復興支援**（認定 NPO 法人難民を助ける会 [AAR Japan] / 2025 年 2 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）

能登半島地震で被災した石川県輪島市金蔵地区の地域住民を主体とした復興まちづくり協議会が組織されることを目的とし AAR Japan と覚書を交わし支援している。

- ・2月3日（月）**金蔵集会所にて**
出席者：野崎（隆）、井池区長他3名、大原（AAR Japan）、小原（関学）
内容：顔合わせ。これまでの活動経過の説明と今後の地域づくりへの協力要請を受ける。
*後日、AAR Japan と被災者支援に関する覚書（2025/2～9）を締結。
- ・2月27日（木）**金蔵集会所にて**
出席者：野崎（隆）、井池区長、大原（AAR Japan）
内容：復興の課題（復興住宅、被災建物の解体等）、行政との関係構築について意見交換。
- ・3月27日（木）**金蔵集会所にて**
出席者：野崎（隆）、井池区長、向面会長、大原（AAR Japan）
内容：行政との対応を話し合う。復興の主体になるため地域づくり協議会設立を目指す。
- ・3月28日（金）**町野支所にて**
出席者：野崎（隆）、木下（町野復興プロジェクト）、向面会長、大原（AAR Japan）
内容：全町野での協議会設立、行政との連携について意見交換。

■**トヨタ財団助成事業**

- 新常態における新たな着想に基づく自治型社会の推進**（公益財団法人トヨタ財団補助事業）
検討の上、申請せず。

■**居住支援法人支援事業**

- 令和6年度居住支援法人の活動把握業務**（一般財団法人神戸住環境整備公社委託事業 / 2024年7月26日～2024年11月30日）
- 令和6年度 居住支援法人の活動把握業務(2回目)**（一般財団法人神戸住環境整備公社委託事業 / 2025年1月20日～2025年3月4日）
6年目となる2024年度の実施事業は、新規の居住支援法人へのヒアリングのみとなった。
ヒアリングに先立ち、第1期は、神戸市地域を業務エリアとしている兵庫県内の居住支援法人9団体に、第2期は3団体に、それぞれヒアリングシートを送付して記入をしてもらい、記入内容を元に

ヒアリングを行った。ヒアリング内容は、支援対象者や対象エリア、相談窓口などの基本情報の確認と、うまくいった事例、いかなかった事例や課題、困っていること、居住支援協議会に期待することなど。ヒアリング結果を基に、居住支援法人 12 団体（内 3 団体は 2 回目の契約で実施）のヒアリング内容をまとめた。

令和 6 年の兵庫県の居住支援法人の指定は 21 法人で、令和 5 年の 10 法人から倍以上に増えた。そのうち、神戸市以外の地域を活動拠点とする法人の指定は 9 法人で、平成 30 年から令和 5 年の 6 年間で 5 法人の指定しかなかったことを考えると、神戸市以外にも居住支援法人の存在が少しずつ認知されてきているのではないかと推測される。

■アドバイザー派遣事業

○神戸市まちづくり専門家派遣によるアドバイザー派遣（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

神戸市地域団体（会下山地区まちづくり協議会）より派遣依頼があり、会議の開催等にあわせてアドバイザーを派遣し専門的なアドバイスを行った。会議等 7 回実施。

■相談事業

通常業務としての相談は受けているが、収益事業としては実施せず。

（3）まちづくり及び地域再生のために必要な事業

■会館自主事業

○会館まちラボ運営事業（自主事業／2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

こうべまちづくり会館の 4 階の一定スペースを神戸市から目的外使用として借り受け、活動場所としての貸し出し、物品販売、講演会等の活動を展開した。神戸市との契約により収益事業を行うことも可能であるため、有償の事業としてまちラボで開催した。

その一環として、2024 年度における有料でのラジオブースやワークショップ利用は 41 件、市場連合会によるラジオ収録と常連の方によるサイエンスワークショップや書道教室での利用が年間を通して行われた。カウンターのカフェテリアにてコーヒーマシンでの有料コーヒーや地ジュースの「アップル」などの販売もまちラボ運営から引き続き行い、件数は 1,047 件（2023 年度 828 件）。内訳としてコーヒーマシン 465 件（2023 年度 408 件）、地ジュース 582 件（2023 年度 402 件）と僅かな伸びを見せた。ことアップルサイダーは取扱店が少ないこともあり、目当てに来館する層も散見された。

2023 年度に続き 2024 年度も 1 月 12 日～19 日にかけて「こうべあいウィーク」を開催。阪神・淡路大震災から 30 年、能登地震から 1 年直後ということもあり、スナック復興や復興バルを中心に有意義な場を生み出すこととなった。地域連携としては、こちらも引き続きスタッフ今地による元町商店街を中心に元町夜市出店など商店街開催のイベントへの協力や、元町映画館とのコラボイベントも開催した。また館長の友人の行政職員が中心となったイベント「最近何処行」や「誰得まちあるき報告会」も複数回開催。この他、次世代の若手チーム「コネクトコモンズ KOBE」「ひよっこ展」の活動拠点の一つとしても機能し、幅広い年代の利用があった。

有料飲食セミナーや有料座談会は、現場での作業量にも限界があったため開催には至らなかった。まちづくり研究所メンバーを主体とした開催も今後検討していきたい。2024 年度中に開始予定だった貸本棚 NUMA も 2025 年度開始を目指す。

5 階ワークスペースは 2024 年度中に満室になった。2025 年度初めに入れ替わりがあったが、商店街

理事会が興味を示しているなど、空室期間はほぼ発生しない見込みである。エレベーターなどの定期点検による利用制限が予定される場合は、2025年度も引き続き事前にメーリングリストにて告知をする。

○会館床賃貸事業（自主事業／2024年4月1日～2025年3月31日）

こうべまちづくり会館の5階ワークスペース8ブース、1階古書店並びに自動販売機設置場所を神戸市から目的外使用として借り受け、使用者と会館使用契約書（自動販売機は設置協定書）を交わし管理業務を行った。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
501号室	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
502号室	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
503号室	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
504号室	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
505号室			E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
506号室						F	F	F	F	F	F	F
507号室	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G
508号室	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H
古書店	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
自販機(円)	1,222	2,645	1,724	2,866	2,827	2,903	1,742	2,125	1,468	1,535	1,635	1,500

※505号室は6月から、506号室は9月からの使用。

※アルファベットは利用団体を示している。(名称と関連性なし)

○駐車場賃貸事業（自主事業／2024年4月1日～2025年3月31日）

市有不動産である路外駐車場（元町通5丁目駐車場）5区画を神戸市より借り受け、使用者と自動車保管場所仕様契約書を交わし管理業務を行った。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
区画001	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a
区画002	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a
区画003	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	e	e
区画004		c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c
区画005	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d

※区画004は5月からの使用、区画003は2月から使用者が交代した。

※アルファベットは利用団体を示している。(名称と関連性なし)

○こうべまちづくり会館におけるベビーケアルーム設置及び維持管理委託業務（神戸市／2024年11月20日～2025年3月31日）

神戸市が所有する施設「こうべまちづくり会館」において、施設利用者及び周辺商店街利用者の利便性向上のため、神戸市の委託により、1階ロビー内に置き型のベビーケアルーム（製品名「mamaro」（Trim 株式会社））を設置した。設置工事日は12月18日（水）。以降3月31日まで毎日点検および清掃等の維持管理業務を行った。利用者数は12月10人、1月8人、2月13人、3月8人。



（４）その他この法人の目的を達成するために必要な事業

■ニュース等の発行

神戸まちづくり研究所の活動内容を報告する動画として配信した。

・240805_神戸まちづくり研究所ニュース

「まち研総会開催！新体制へ！」「i ウォーク・ウィーク日程決定！」「まち研有志 能登へ！」
「オープニングイベント開催！」「語り部育成事業計画中！」「(仮) まち研トーク企画進行中！」

・250107_神戸まちづくり研究所ニュース

「こうべあいウィーク開催」「能登支援やっています！」「長田区制 80 周年 WS」
「まち研トーク第 1,2 回開催」

■まち研トーク

会員の活動実績や取組みなどを相互理解すると同時に、会員の対外的広報を図る目的で実施した。理事長がゲストとして会員を招き、公開ヒアリングの形式で開催した。

・第1回 9月26日（木） こうべまちづくり会館 4階まちラボにて

「ダイバーシティとまちづくり」と題し、田村副理事長をゲストとして招き、現在に至る経緯と「まちづくり」と自身との関連性、今後の展望などを伺った。

・第2回 12月2日（月） こうべまちづくり会館 4階まちラボにて

「シチズンシップとまちづくり」と題し、川中理事をゲストとして招き、現在に至る経緯と「まちづくり」と自身との関連性、今後の展望などを伺った。

■こうべまちづくり会館での1.17 関連企画「阪神・淡路大震災 30 年記念こうべあいウィーク」の開催

まちラボを活用し、こうべまちづくり会館と連携しつつ、防災・復興まちづくりに関する展示・セミナー・フォーラムとして「こうべあいウィーク」を開催した。

・1月12日（日） 夕まで復興塾／神戸災害復興建築探訪／ホヤを通して
震災を伝える／土業カフェ／ふっこうバル

・1月13日（月） 震災メモリアルコンサート／能登カフェ

・1月14日（火） あの日から 30 年今、わたしたちにできること…
／神戸市の被災地支援～それから学ぶこと
／神戸のまちづくり WS の 30 年／みんなでシネマ

・1月16日（木） 神戸のまちの魅力を考える会／朝まで討論会／みんなでシネマ

・1月17日（金） 「女たちが語る阪神・淡路大震災といま」トークイベント／みんなでシネマ
／神戸元町商店街と震災



- ・1月18日（土） まちづくり協議会サミット／第70回中央マンション交流会／みんなでシネマ
／カリンバミニコンサート・体験会
- ・1月19日（日） クレオマラソンコンサート／能登カフェ

期間中開催： 映画「野田北部・鷹取の人びと」全14巻一挙放映
非常食 de お弁当／兵庫県ユニセフ協会展示「子どもにやさしい空間」
スナック復興／神戸大学パネル展

■能登支援会議

能登半島地震の復興支援に携わる関係者が参加し、情報交換を行う場を1カ月～2カ月に1回程度の頻度で計11回開催した。

2024年

- ・4月25日（木）17:00～@まちラボ+オンライン
- ・5月28日（火）15:00～@まちラボ+オンライン
- ・6月25日（火）18:00～@まちラボ+オンライン
- ・8月7日（水）18:00～@オンラインのみ
- ・9月4日（水）18:30～@オンラインのみ
- ・10月11日（金）18:00～@まちラボ+オンライン
- ・11月12日（火）18:00～@オンラインのみ
- ・12月3日（火）18:00～@まちラボ+オンライン

2025年

- ・1月13日（月）16:00～@まちラボ+オンライン
- ・2月14日（金）18:00～@まちラボ+オンライン
- ・3月13日（木）18:30～@まちラボ+オンライン

■団体・実行委員会・ネットワーク等に参加

- ・ひょうご市民活動協議会（HYOGON）（正会員／運営委員：野崎隆一）
- ・近畿災害対策まちづくり支援機構（正会員／代表委員：野崎隆一）
- ・こうべ団地みらい創生機構（正会員／代表理事：野崎隆一）
- ・災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議（構成団体／委員：浅見雅之）
- ・明舞再生塾（構成団体／担当：野崎隆一）
- ・こうべあいウォーク 2025 実行委員会（構成団体／実行委員長：野崎隆一）
- ・ひょうご中間支援団体ネットワーク（登録団体／担当：浅見雅之）
- ・ひょうごふるさとづくり交流会議（登録団体／担当：浅見雅之）
- ・ESD 推進ネットひょうご神戸（RCE Hyogo-Kobe）（代表：野崎隆一）
- ・ひょうごボランティアプラザ運営協議会（委員：野崎隆一）
- ・防災ツーリズム推進事業企画委員会（委員：浅見雅之）
- ・しみん基金 KOBE（理事：野崎隆一）
- ・神戸モダン建築祭（実行委員長：松原永季） など

■受賞等

- ・貝原俊民美しい兵庫づくり賞表彰（一般財団法人地域政策研究会）
- ・阪神・淡路大震災 30 年課題解決アイデアを募集するプロジェクト部門賞（認定 NPO 法人しみん基金・KOBE）

3. その他の事業

（1）民間非営利組織、市民活動及びまちづくりに係る商品や書籍の開発・出版及び販売

実施せず。

4. 事業実施体制

（1）会議に関する事項

■通常総会

- 開催日 2024年5月28日（火） 18時15分～19時30分
- 開催場所 まち活拠点まちラボ
- 出席者 29名（うち書面表決11名） ※正会員数34名
- 議事内容 第1号議案「2023年度事業報告および2023年度決算報告承認の件」
第2号議案「2024年度・2025年度役員承認の件」
第3号議案「2024年度事業計画および2024年度活動予算承認の件」

■理事会・事務局会議

理事会は隔月開催し、事務局会議は毎月開催した。

会議名	項目	内容
4月臨時理事会	日時	2024年4月19日（金）9時～10時50分
	会場	Zoom ミーティング
	出席	理事7名／7名中（他5名）
	議事	活動報告、決算報告案、2023年度事業進捗確認、2024年度事業について、次年度体制について、通常総会に向けて
5月理事会	日時	2024年5月17日（金）9時～11時20分
	会場	Zoom ミーティング
	出席	理事7名／7名中（他4名）
	議事	活動報告、2023年度事業報告案、2023年度決算報告案、2024年度役員案、2024年度事業計画書案、2024年度予算案、通常総会案内・出欠連絡票・委任状、通常総会運営、トヨタ財団助成プログラム
5月臨時理事会	日時	2024年5月28日（火）19時30分～19時40分
	会場	まち活拠点まちラボ
	出席	理事9名／9名中（他2名）
	議事	理事長、副理事長の選任について

6月事務局会議	日時 会場 出席 議事	2024年6月12日(水)9時~10時30分 カタリストにて対面・Zoomミーティング 松原、浅見、北村、初田、野崎、川村 活動報告、会計報告、スラックと Google Workspace の導入、まちづくり会館業務、震災30年事業、会員向け事業、広報としてニュースの代替案について
7月事務局会議	日時 会場 出席 議事	2024年7月10日(水)9時~10時30分 カタリスト、Zoomミーティング 松原、浅見、北村、初田、野崎、川村 国交省共創 MaaS 事業、まちづくり会館のオープニングイベント、会員交流事業、震災30年事業、広報の SNS 配信
7月理事会	日時 会場 出席 議事	2024年7月19日(金)9時~11時00分 Zoomミーティング 理事8名/9名中(他2名) 活動報告、会計報告、スラックと Google Workspace の導入、まちづくり会館業務、震災30年事業、会員向け事業、広報としてニュースの代替案について
8月事務局会議	日時 会場 出席 議事	2024年8月21日(水)9時~10時30分 カタリスト、Zoomミーティング 松原、北村、初田、野崎、川村 活動報告、あいウィーク・iウォーク事業、能登半島支援、しみん基金こうべの企画提案、会員交流企画「まち研トーク」、パンフレットの見直し
9月事務局会議	日時 会場 出席 議事	2024年9月11日(水)9時~10時30分 カタリスト、Zoomミーティング 松原、北村、初田、野崎、川村 あいウィークの企画運営、弁護士会まち歩き、能登半島支援、まち研トーク、長田区80周年WS、しみん基金こうべの企画提案、まちづくり会館事業
9月理事会	日時 会場 出席 議事	2024年9月20日(金)9時~11時00分 Zoomミーティング 理事8名/9名中(他1名) 活動報告、今後の予定、会計報告、まちづくり会館事業、あいウィーク事業、弁護士会まち歩き、能登半島支援、長田区80周年WS、しみん基金こうべの企画提案、経営改善

10月事務局会議	日時 会場 出席 議事	2024年10月9日(水)9時~10時30分 カタリスト、Zoomミーティング 松原、浅見、北村、初田、野崎、川村 活動報告、まちづくり会館事業、あいウィーク、弁護士会まち歩き、能登半島支援・会議、長田区80周年WS、1.17BATON、事務局会議の日程変更
11月事務局会議	日時 会場 出席 議事	2024年11月5日(火)10時~12時00分 まち活拠点まちラボ、Zoomミーティング 松原、北村、初田、野崎、川村 活動報告、まちづくり会館事業、あいウィーク、弁護士会まち歩き、能登半島支援・会議、長田区80周年WS、1.17BATON、パンフレットの見直し、各表彰式
11理事会	日時 会場 出席 議事	2024年11月15日(金)9時~11時00分 Zoomミーティング 理事8名/9名中(他2名) 活動・決算報告、まちづくり会館事業、あいウィーク、弁護士会まち歩き、能登半島支援・会議、今後の経営について
12月事務局会議	日時 会場 出席 議事	2024年12月3日(火)10時~12時00分 まち活拠点まちラボ、Zoomミーティング 松原、浅見、北村、初田、川村、古川 活動報告、まちづくり会館事業、あいウィーク、弁護士会まち歩き、能登半島支援・会議、長田区80周年WS、各表彰式
1月事務局会議	日時 会場 出席 議事	2025年1月7日(金)10時~11時30分 まち活拠点まちラボ、Zoomミーティング 松原、北村、初田、津久井、川村、古川、戸川 活動報告、まちづくり会館事業、あいウィーク、弁護士会まち歩き、能登半島支援・会議、長田区80周年WS、まち研ニュースの配信、各表彰式、今後の経営について
1月理事会	日時 会場 出席 議事	2025年1月10日(金)9時~11時00分 Zoomミーティング 理事7名/9名中(他2名) 活動・決算報告、まちづくり会館事業、あいウィーク、弁護士会まち歩き、能登半島支援・会議、長田区80周年WS、まち研ニュースの配信、今後の経営について

2月事務局会議	日時 会場 出席 議事	2025年2月4日（火）10時～12時00分 まち活拠点まちラボ、Zoom ミーティング 松原、北村、初田、川村、古川 活動・決算報告、まちづくり会館事業、会館運営における管理会社の変更、弁護士会まち歩き、能登半島支援・会議、長田区80周年WS、1.17BATON
2月 臨時事務局会議	日時 会場 出席 議事	2025年2月7日（金）15時～16時 まち活拠点まちラボ 松原、浅見、初田、古川 まちづくり会館事業、会館運営における管理会社の変更
2月 臨時事務局会議	日時 会場 出席 議事	2025年2月13日（木）15時30分～16時30分 まち活拠点まちラボ 松原、浅見、初田、川村、古川 まちづくり会館事業、会館運営における管理会社の変更
3月 事務局会議	日時 会場 出席 議事	2025年3月4日（火）15時30分～17時00分 まち活拠点まちラボ、Zoom ミーティング 松原、北村、初田、野崎、川村、古川 活動・決算報告、まちづくり会館事業、能登半島支援・会議、長田区80周年WS、1.17BATON、今後の経営について
3月理事会	日時 会場 出席 議事	2025年3月21日（金）9時～12時00分 Zoom ミーティング 理事9名／9名中（他3名） 活動・決算報告、まちづくり会館事業、会館運営における管理会社の変更・新スタッフの雇用、能登半島支援・会議、総会について

(2) 事務局体制

■**事務局長**：北村胡桃（2024年度定時総会から）、浅見雅之（2024年度定時総会まで）

事務局次長：初田直哉（2024年度定時総会から） **事務局スタッフ**：川村憲之（短時間勤務職員）

会館管理運営業務・会館自主事業担当職員：古川建太（常勤正職員）、戸川由子（常勤正職員）、
今地春乃（短時間勤務職員）、辻信一（パート職員）

(3) 会 員（2025年3月31日現在）

①**正会員** [個人] 35名 (新会員3名 退会1名)